




◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

安全上のご注意

- ◎ 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、**次の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

- * 重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、後遺症が残ったりするものを指します。
* 傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
* 物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

- 天災や人災及び弊社の責任以外の火災、本機の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とはことなる使用方法で本機を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● 本機の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた純粋経済損害、また人命救助などを目的とした通信に本機を使用し通信の途絶、故障や誤動作、電池の消耗などにより人命に関わる事態が生じても弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
● 弊社が関与していない接続機器との組み合わせによる誤動作や、使用中の故障・電波環境などから通信や受信できなかったことで発生した逸失利益に対する責はご容赦ください。

■ 共通(本機/バッテリーパック/充電器/ACアダプター)

△危険

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 指定以外の機器を充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。
 - 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- ◎ 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。
爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。
- ◎ 直射日光が当たる場所、空調機や火の近くなど、温度が高くなる場所には絶対におかないでください。
破裂、火災、故障の原因になります。真冬でも閉め切った車内や窓際は日光が当たると本機の表面はバッテリーパックの破裂につながる温度まで上昇します。
エアコン暖房程度の温風でも連続して当たっていると高温になります。
- ◎ 雷が鳴り出したら、屋外での使用時は直ちに屋内、車内など安全な場所に避難、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

△警告

- ◎ 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 万一、発煙、臭気、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。
継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。バッテリーパックや乾電池ケースを取外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または、弊社サービスセンターにご連絡ください。
- ◎ 小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。
- ◎ 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電・やけど・けがの原因になります。

△注意

- ◎ ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を絶対に使用しないでください。柔らかい綺麗な布で乾拭きをしてください。
ケースが損傷したり、文字が変質したり、塗装がはがれたりする恐れがあります。また、機器内部に洗剤などが浸透し故障の原因になることがあります。

■ 本機

△警告

- ◎ 医療や介護関連、または空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設での使用については各施設管理者に事前に問い合わせ、承認を得てからご使用ください。
電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。
- ◎ 運転中に本機を手を持って操作しないでください。
このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。

- ◎ 本機を振り回したり、投げたりしないでください。
部品が外れて人や壁などに当たり、けがや故障、破損の原因になります。
- ◎ 大きな音量でイヤホンやイヤホンマイクなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

△注意

- ◎ 付属品および、弊社指定のオプション品以外を使用しないでください。
故障や感電など事故の原因になります。
- ◎ 指定以外の温度範囲で使用しないでください。
記載の温度範囲以外での使用は故障、動作不良、発熱発火の原因になります。
- ◎ バッテリーパック、乾電池ケース、充電器の端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

■ 充電器

△警告

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
- 充電器に水を入れたり、濡らしたりしないでください。また水に濡れたときは使用しないでください。
 - 濡れた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。

△注意

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。
- 10℃～+40℃以外の環境で充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。
 - 指定以外の電圧で使用しないでください。

■ ACアダプター

△警告

- ◎ 濡れた手で絶対にACアダプターに触れないでください。
感電の原因になります。
- ◎ アダプターや接続ケーブルに傷がある場合や、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
火災、感電、故障、破損の原因となります。
- ◎ 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因となります。
- コードの上に重いものを載せないでください。

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因となります。

- ホコリがたまる場所にあるコンセントに接続しないでください。
(トラッキングと呼ばれる現象で発火することがあり、大変危険です。)
- アダプターを抜き差しするときは、電源コード（以下コード）を引っ張らないでください。
- コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- 水などの濡れやすい場所では使用しないでください。
- アダプターをタコ足配線して使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所では使用しないでください。

■ バッテリーパック

△危険

- ◎ 火や空調機の近く、直射日光の当たる車内や窓際など、高温になる場所での使用、充電、放置は絶対にしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護回路が動作して充電できなくなったり、保護回路が破損したりして破裂、発煙、発火や火災、液漏れ、やけどの原因になります。真冬でも閉め切った場所で温風や直射日光が当たると危険な温度まで上昇します。
- ◎ コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります。その状態で使用を続けると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、やけどの原因になります。
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - 液体につけたり、濡らしたりしないでください。
 - 膨れてきたら使用をやめ、ただちに本機から外して電池回収ボックスに廃棄してください。
 - バッテリーパックの端子に半田付けしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類（針金、ネックレス、鍵など）や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックと一緒に持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックから漏れ出した液が目に入ったときは、失明の恐れがあるので絶対にこすらないでください。すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

△警告

- ◎ 使用中や充電中にいつもより発熱を感じたときは、使用を中止してください。
使用を続けるとバッテリーパックの破裂、発熱、液漏れ、故障の原因になります。
電池回収ボックスに廃棄してください。

警告

- 使用時間が短くなったとき、長時間使い続けたときはバッテリーパックを交換してください。
3年を目安に長くても5年までに交換が必要です。使用を続けると発火や発煙の原因となります。

注意

- 次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長時間放置しないでください。長時間バッテリーパックを保管する場合は、バッテリーパックを完全に使い切ってから、満充電の目安時間の半分程度充電してください。
 - 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
 - 保管するときは必ずバッテリーパックを本機から外してください。装着したままだと過充電して充電できなくなります。

バッテリーパックの特性と寿命について

- バッテリーパックは消耗品です。充電回数は300回～500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱している、膨れたなどバッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止してください。
- 使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。劣化がはじまると、満充電状態からでも運用時間が短くなります。
- 劣化したバッテリーパックは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。弊社では3年を目安に、長くても5年でお買い換えをお勧めしています。

使用後はリサイクルへ



本機は、充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。
JBRC ホームページ <https://www.jbrc.com/>

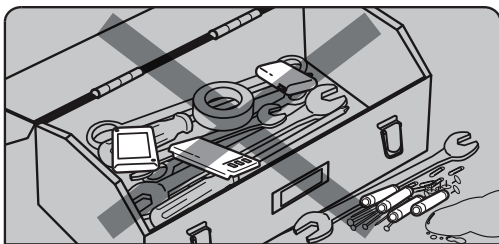
電磁ノイズ

インバーター回路を内蔵している電子機器およびハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズの影響を受けて、正常に動作できないことがあります。

- LED照明機器 ● 電磁調理器 ● 給湯器 ● 自動車の電子機器
- 太陽光発電装置

電池類の持ち運びについて

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。端子をショートさせると大電流が流れて火災、やけどの原因になります。1.5Vの単三形乾電池ですら数分程度で、約90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。



- 金属製のもの（ネックレス、プレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。真水や塩水は電気を通します。
- 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず1個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。補充充電については別途充電器の項目でご説明しています。
- 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

アフターサービス

- 保証と保証書
修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とおお客様の間の契約が優先されますので 購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。
- 保証期間が過ぎたら
お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスを ご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です

注意事項

- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、技術基準適合から外れるため、修理をお断りすることがあります。また内部の部品は販売しておりません。
- 修理見積りや保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
- 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- 印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。
- 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
- 汚れはときどき乾いた清潔な綿棒で拭って清掃してください。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホンを装着するとき、耳に静電気ショックを感じるがあります。ドアノブなどに触れて感じるがあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 本体背面に貼られている黒く丸いシールをはがしたり、別のラベルで覆ったりしないでください。防水性能を維持できなくなったりします。
- 付属品、および弊社指定のオプション品以外のアクセサリを接続して使用すると故障や動作不良の原因になることがあります。他社製品をお使いになっての不具合は保証期間に関わらず、製品保証の対象外です。他社製品を本機に使うための改造サービスは有償、無償にかかわらず行っておりません。
- 本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約が無い限り、誤動作、不具合や損害が生じても一切の責任は負いかねます。
- 乾電池は推奨使用期限内にお使いください。古い電池は性能の低下、内部素材の劣化による液漏れの原因になります。使用期限は「月－2桁」または「月－西暦年号」の順で、本体またはパッケージに表示されています。例：01－23、01－2023 は2023年1月を表します。
- 別売の乾電池ケースをお使いになるときは、信頼できる品質のアルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池、ニッケル水素充電電池や低品質の電池は運用時間が短くなり、動作不良の原因になります。リチウム乾電池は初期電圧が高いため故障の原因となります。絶対にお使いにならないでください。

- 廃棄の方法は一般家電製品と同等です。普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境破壊の原因となります。

電波法

- 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品で、右記の「[技術マーク]」が印字されています。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。
- 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
 - 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。
 - ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。
 - ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の補助に該当するためです。ご了承ください。
- 他人の通信を妨害したり、通話の内容を無断で漏らしたり、勝手に利用したりすることは電波法で禁じられていて、違反すると罰せられます。
- 使用できるのは、日本国内に限られています。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。



外郭保護性能

本機は設計段階で外郭保護等級 IP67 規格の耐塵防浸試験に合格しており、適合するアクセサリ、バッテリーパックを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし耐塵、防浸試験には条件があり、完全な保護を保証するものではありません。本機、バッテリーパックは装着しないと防水にはなりません。単体で濡れたり、汚れたりすると故障の原因になります。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体、気体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じです。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。外郭保護性能に有無にかかわらず汚れたり濡れたりしたときは、すぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただく長く正常な状態でお使いいただけます。

特定小電カトランシーバー DJ-P400

ALINCO ALINCO

簡易マニュアル

同時通話用チャンネル設定

表示ランプ

本機の状態を表示します。

青色：待ち受け中に点灯。

緑色：受信中に点灯。

赤色：送信中に点灯。

マイク

イヤホンマイクを併用する
ときには使用しません。

▲ (アップ) キー

チャンネル、グループ設定
の時に使います。

▼ (ダウン) キー

チャンネル、グループ設定
の時に使います。

PTT (送信) キー

一回押すと送信、もう一度
長押しすると受信待受け状
態に戻ります。

※押し続けている間だけ送信、
離すと受信待受け状態にも
設定できます。

電源/音量ツマミ

時計方向に回すと電源が入
ります。

さらに回すと音量が大き
く、反時計方向に回すと音
量が小さくなります。

マイク/イヤホン端子

マイクやイヤホンを接続す
る際は、しっかりと奥まで
ねじ込んでください。

SET キー

個体番号やグループトーク
の設定/解除ができます。

FUNC キー

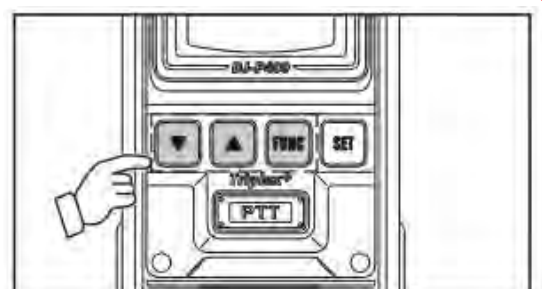
各種機能設定を設定する
ときに使います。

※約 2 秒押すとキーロック
(誤操作防止設定) を設定で
きます。解除する場合も約
2 秒長押し。

設定状態がわからなくなったときは・・・

リセット (初期化) をする


- ① 一度電源を切ります。
- ② [▼(ダウン)]キー、[▲(アップ)]キー、[FUNC]キーを全て
押したまま電源をONにすると、工場出荷状態に戻ります。

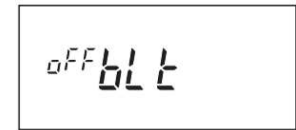


Bluetooth 対応イヤホンマイク/スピーカーマイクを使いたい・・・。

ペアリングをする。 ※ペアリングは最多8台です。それ以上は古い情報が自動で消えます。

(((DJ-P400 の設定)))



- ① 待受時に[FUNC]キーを押しながら、素早く[SET]キーを押して『セットモード』に入ります。
セットモードに入ると、液晶画面が右図の表示に変わります。
- ② [FUNC]キーを複数回押して『Bluetooth モード』に切り替えます。
- ③ [▲(アップ)]キーを押して液晶画面左側の『off』を『on』にします。
- ④ [PTT(送信)]キーを押して待ち受け(チャンネル表示)画面に戻ります。
※液晶画面下部に『』が点滅し、表示ランプが赤/緑の交互点灯をはじめペアリングが始まります。

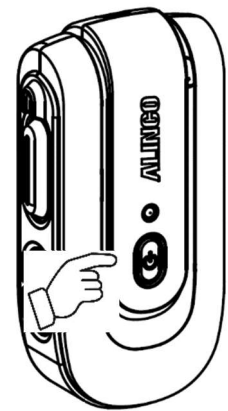


(((Bluetooth 対応イヤホンマイク/スピーカーマイクの設定)))


※イヤホンマイクの場合は、ガイダンス音が聞こえるようにイヤホンを装着してください。

※Bluetooth 対応イヤホンマイク/スピーカーマイクを初めてご利用の場合は次の操作は不要です。

- ⑤ [電源 - ⑥ 「ペアリング中です。」とガイダンス音が流れ、インジケータが緑色に早く点滅したら[電源 



(((ペアリングの確認)))

- ⑦ イヤホンマイク/スピーカーマイクから、「接続されました。」のガイダンス音が流れます。
- ⑧ DJ-P400 の液晶画面下部にある『』の点滅が終わり、常時点灯します。

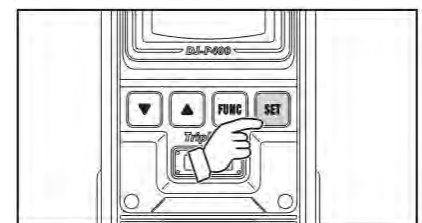
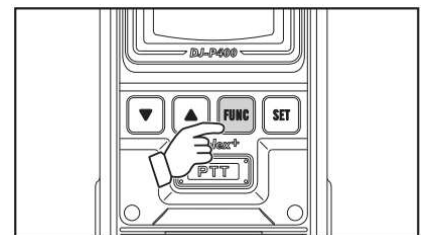
3者同時通話の設定方法

※工場出荷時状態は3者同時通話モードです。

- ① [FUNC]キーを押します。
液晶画面左側にメモリー番号が点滅します。
- ② [SET]キーを押します。
- ③ [▼(ダウン)/▲(アップ)]キーで液晶画面左側を『3』にして [PTT]キーを押して確定します。
- ④ [▼(ダウン)/▲(アップ)]キーでチャンネルグループを合わせます。



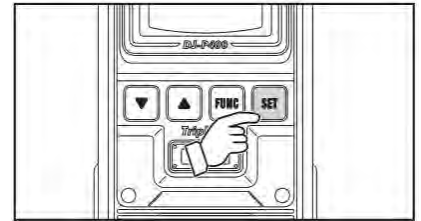
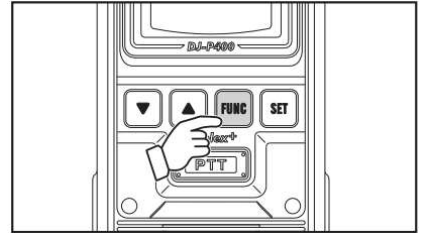
A~H の8グループあります。



- ⑤ 接続した外部マイクの[PTT (送信)]ボタンを押します。
液晶画面左下に『送』が点灯し、イヤホンから自分の声が聞こえます。
※なるべく**現場の中心で作業される人から順番に[PTT (送信)]ボタンを押してください。**最初に押した機体が親機になり、それを中心に通信されます。
- ⑥ 通話を終了するときは、外部マイクの[PTT (送信)]ボタンを長押しします。
ディスプレイから『送』が消灯します。

4者同時通話の設定方法

- ① [FUNC]キーを押します。
液晶画面左側にメモリー番号が点滅します。
- ② [SET]キーを押します。
- ③ [▼(ダウン)/▲(アップ)]キーで液晶画面左側を『4』にして
[PTT]キーを押して確定します。
- ④ [▼(ダウン)/▲(アップ)]キーでチャンネルグループを合わせます。
※通信される4台は全て同じチャンネルを選びます。



A~Hの8グループあります。

*4者間同時通話の「qAd」表記は
クアドラプル (quadruple) の略です

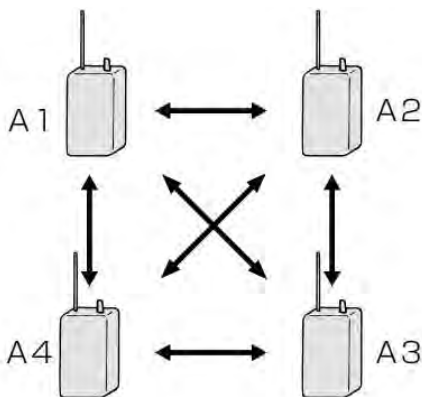
- ⑤ [FUNC]キーを押しながら[▼(ダウン)]もしくは[▲(アップ)]キーを押して、ID『1』～『4』を選択します。



4台それぞれに1~4を割り当ててください。

*4者間同時通話の「qAd」表記は
クアドラプル (quadruple) の略です

- ⑥ 1台目と接続した外部マイクの[PTT (送信)]ボタンを押します。
液晶画面左下に『送』が点灯し、イヤホンから自分の声が聞こえます。
- ⑦ 2台目も同様に接続した外部マイクの[PTT (送信)]ボタンを押します。
液晶画面左下に『送』が点灯します。
- ⑧ 3台目、4台目も順に外部マイクの[PTT (送信)]ボタンを押して、液晶画面左下に『送』が点灯したことを確認してください。



左図はチャンネル『A』で設定した場合です。

上記⑥~⑧をA1⇒A2⇒A3⇒A4の順に設定をしてください。

※それぞれ10m以上の間隔を置くと、より良好な通信ができます。

- ⑧ 通話を終了するときは、外部マイクの[PTT (送信)]ボタンを長押しします。
ディスプレイから『送』が消灯します。